

令和6年4月25日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田 正司



記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業
事業実施前の状況	交差点等の一部が死角になり、安全面に難あり、及び、不審者/犯罪者の逃走経路となるのでは等の指摘があり、継続を要望。
事業実施後の状況	設置箇所も増え、安全で安心な暮らしが出来る。又、第三の目（者）による長期休暇（夏休み/大型連休）等の不在期間中の見守りが可能となる為、継続を要望する。
事業の効果	設置個所が増えたことによる各犯罪抑止効果ありと判断します。…継続
今後の課題等	リースのような、安価な設投で、管理費の低減を図る。 又、家庭用防犯装置費用支援/援助策を提案し、各家庭への防犯装置設置希望者を募り、自らの防犯意識向上を促進させ、地域一丸となった防犯対策を実施する。 又、他地域（行政）が取り組んでいるドローン等（ドローンに替わる代替品…模索中）を活用した防災/防犯体制及び地区放送（全戸への緊急避難速報/警報）も再度提案/検討し維持管理（資格免許/教育含め）の促進。…継続

令和6年4月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田 正司 印 

記

事業の名称	地域行事等活動活性化事業
事業実施前の状況	納涼大会等を実施する地域団体0年々、予算等 高騰し、運営が苦しくなっている
事業実施後の状況	電気設備設置及び活動運営を支援して、活動 に対して応援した。
事業の効果	電気設備設置等に費やしていた費用が軽減 する事ができ、他に援助する事が出来た。
今後の問題点	年々、種々雑多なものの価値よりし、もう少し 援助を増やすべきと思う。

令和 5年2月9日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 山田 正司

記

事業の名称	地域内会館備品整備事業(秦野会館)
事業実施前の状況	老朽化が顕著な備品や設備を改善する。 高齢者に優しい椅子等軽量化をはかる。
事業実施後の状況	1 保育室の畳表替え、学習室のカーテン取り替えた。 2 会議室の椅子や小会議室の机をキャスター付きの軽量備品に替えた。 3 トイレの窓に透明ガラスを覆うフィルムを貼り付けた。 4 文庫棚の横に(階段)がある為薄暗い、棚上に照明器具設置した。 目的達成出来た。
事業の効果	1 見栄えがよくなった。 2 高齢者でも使いやすくなった。 3 他の方から見えなくなり、目的達成。 4 明るくなり目的達成。
今後の課題等	秦野会館が今後も使用出来ることを願う。

2024年6月25日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 山田正司

記

事業の名称	公園整備事業①
事業実施前の状況	石橋公園北東側の車止めがひとりでは操作がしにくく、車両を進入する際は数人の人手が必要でした。
事業実施後の状況	ひとりで車止めを操作できるようになった。
事業の効果	石橋公園内に車両を進入する際、ひとりでできるようになった。
今後の課題等	石橋公園で納涼大会等イベントの準備で、車両の進入が容易になった。

令和6年4月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田 正司



記

事業の名称	公園整備事業②
事業実施前の状況	井口堂公園には古墳があり、石橋駅からの旧街道のハイキングコースの途中で休憩場所もなく不便だ たので人々は通り可ぞういた。
事業実施後の状況	ベンチとイスが設置され、休憩する人々が増え 憩いの場となった。
事業の効果	地域の人や、ボランティアの人々から公園の清掃のあとに 公園に来る親子がベンチに坐り憩いの場所と して重要だと、楽しんでいる。
今後の問題点	日当たりや、暑工の事を考えると東屋のような屋根 か、蔭棚があるような憩いの場所と12月 のころには暖かいと思える。

令和6年4月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田 正司 印



記

事業の名称	市民レクレ-エ-ツ-大会
事業実施前の状況	五年ぶりに開催され、大勢の子ども連、大人連が参加し、やはり、この行事の大切さを痛感した。
事業実施後の状況	レクレ-エ-ツ-大会を実施する事により大勢の人々が互いを知り、コミュニケーションを計り、これからの地域活性化の一助となった。
事業の効果	4ヶ年続いている行事で、地域の人々の集い、楽しむ大切な活動と思う。
今後の問題点	これからも増え、管轄が楽しく、喜ばれる大会とするため、この会の充実を計るには、もう少し援助が必要と考える。

令和6年3月21日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田正司



記

事業の名称	地域コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	コミュニティ各部会が行う事業や関心のある課題を住民に周知することで、コミュニティの存在と役割を知ってもらう事業。
事業実施後の状況	年間2回のコミュニティ紙の発行事業で、旭丘、井口堂及び石橋における石橋地域コミュニティの活動内容と地域性を広く伝達できた。
事業の効果	地域ボランティアの活動、学校と地域のつながり、石橋コミュニティ推進協議会の活動等を広く周知することが出来た。
今後の課題等	新型コロナ禍後のボランティア活動の状況、多世代交流拠点建設後、等の記事を扱いたい。

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田 正司 印

記

事業の名称	避難行動要支援者対策事業
事業実施前の状況	地区住民の中には、支援を要していてもなかなか行動にできず、なにか大きな災害時も現況確認がし辛い状況であった
事業実施後の状況	回数を重ねるたびに、要支援者とも顔なじみになり、近況を伝えてもらえるようになってきた
事業の効果	現況調査の継続により、要支援者への見守りと不安や疑問等に委員ができる範囲で対応をしている
今後の問題点	各委員が受け持つ要支援者と連絡が取れず 幾度の訪問や電話連絡を行ったが 転居や逝去だったこともある。今後は行政とも連絡しあい、もう少しスムーズな見守りができないかを、検討する

令和6年4月25日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田 正司



記

事業の名称	地域防災体制強化事業（避難訓練/防災備品整備等）
事業実施前の状況	緊急時に誰が何をどうするべきなのか知識及び経験が不足しているため、緊急時の対応が取れない、又、有事の場合の避難及び避難所での対応方法等についての新しい知識習得も必要不可欠となります。
事業実施後の状況	組織網の整備及び、緊急時の対応（訓練ではあるが）体験及び各種(新)知識の向上が図れた。 ・総勢約330名の参加者で石橋中学校体育館及びグラウンドにて各種訓練受講。 ・備品購入に於いて、避難所生活に必要であろうと思われそうなエアーマットをテスト的に購入。各自のテスト評価をまとめ、来期の追加数量の目安を検討中。又、初期消火が出来そうな放水タンクも購入し、同じく使用しての評価準備中。高評価を得れば、次年度の購入数増(設置場所含め)も検討する。
事業の効果	地域住民、学校、施設他及び行政の協力の基、連携を取りながら訓練が出来た。参加者各自の経験となり記憶の片隅にでも残れば、いざという時の助けになると期待します。同じことの繰り返しではあるが、継続は力なりを念頭に継続実施必須。
今後の課題等	各種の災害時（発生時間）に即対応が出来るか、訓練内容（夜間含め）を変えつつ継続実施する。学校の設備に頼らず、公園等にて何も無い場所で一から炊き出し等が可能かやってみる価値あり。又、傷の手当他、身近にある品物を応用し、簡単に出来る方法等も織り込んでの実施としたい。 次回は実際に体育館での素泊まり計画中。

令和6年4月8日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田 正司

記

事業の名称	地域内会館備品運営事業
事業実施前の状況	コピー印刷機設置以前は、各ホウニティス団体の各自、コンビニ等でコピー印刷し、時間費用等、かなり負担をかけた。
事業実施後の状況	設置以後は各団体が、レジメ、チラシ等印刷する事が出来、非常に便利になった。
事業の効果	費用、時間、ともに短縮、軽減し、地域住民に多い利益をもたらした。特に多量のチラシ印刷の場合、コンビニ利用していたが、他人に迷惑をかけたため、それかなくなり仕事かしく楽になった。
今後の問題点	井田堂会館の二階、ロビーに設置している中で、音のひびきや騒音、車椅子を作り設置した。

2024年6月21日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 山田正司

記


事業の名称	地域活動支援事業
事業実施前の状況	個人所有の車で備品の運搬を行っていた。
事業実施後の状況	レンタカーで備品の運搬を行った。
事業の効果	車を使用する日時が自由になり、万が一の場合もレンタカーなので、レンタカーの保険内で対処できる。
今後の課題等	車の所有者がドライバーの時は今まで通り使わせてもらうが、そうでない場合はレンタカーを今後使用する。

令和 6 年 3 月 6 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田 正司 

記

事業の名称	リサイクル活動事業
事業実施前の状況	一般のゴミと一緒に捨てられ燃却されていた。 ペットボトルキャップであった。
事業実施後の状況	地域内に回収ボックスを設置し、ゴミの担当者 が回収。リサイクル商品として生まれかわるプランターなど を紹介、回収量を増やした。
事業の効果	石橋地区から他地区への活動に広がっている。学校、地域 住民の意識の高まりを感じる。
今後の問題点	・キャップのリサイクル品を増やしていくことを提案しているが 開発に時間がかかっている。（アサガオ育成鉢など） ・回収作業ボランティアの増員を要する。

令和6年4月25日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田 正司



記

事業の名称	交通安全モラル啓発事業
事業実施前の状況	一旦停止無視/スピードの出し過ぎ/無灯火/ながら(スマホ操作他)運転等、手本となる成人の違反行為が減らない現状、及び、自転車転倒時の頭部損傷による死亡率の上昇を踏まえて、ヘルメットの着用努力義務化等如何に順守出来るか。
事業実施後の状況	本年度も新型コロナはインフルエンザ/風邪同等の格付け(ランク下がる)となりはしたが、依然増えたり減ったり、幾分か各種行事(イベント)等の実施が可能となったものの、集客増員となるようなイベント内容がまとまらず、中止とさせていただく。
事業の効果	中止により、評価できず。
今後の課題等	集客力(集客人員UP)向上をめざし、社協との連携を図り、開催件数を増やししながら、全体の集客力向上を目指す。 又、如何に自転車運転時のヘルメット着用率を上げる施策を早急に練り直し、有意義(魅力)のあるイベント内容とする予定(既存看板修正、チラシ/ビラ手渡し等)。

令和 6 年 3 月 1 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山 田 正 司

記

事業名称	地域美化整備事業
事業実施前の状況	継続して地域の街路や公園に花をうえ、美しい街づくりを行っている。
事業実施後の状況	プランターに花を植えていただくための花を配布し、地域の皆さんに心安らぐ空間を作った。
事業の効果	地域の皆さんに心安らぐ場所づくりになった。 地域の皆さんの環境に対するモラル向上につながった。
今後の問題点	植栽した花を長期にわたって維持することが難しいので、花を選定するときに、注意する必要がある。

令和 6 年 3 月 1 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山 田 正 司

記

事業名称	公園整備事業③
事業実施前の状況	石橋公園の周囲を散歩する場合北側においては、グラウンド内を通る必要があり、他の公園を利用している人を避けて歩く必要があった。
事業実施後の状況	公園が憩いの場・遊びの場・集合の場として利用できる公園として、特に散歩やウォーキングを楽しむ人にとって使いやすい公園になった。
事業の効果	公園を 1 週する歩道が完成したので、散歩を楽しむ人が他の利用者に遠慮なく利用できる公園になった。
今後の問題点	今後も周回歩道を維持するために、歩行者に邪魔になる木の下枝等を除去し、歩道の空間を確保する必要がある。

様式第4号

2023年11月6日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

会長名 山田正司 

記

事業の名称	三世代交流事業
事業実施前の状況	前年度はコロナ発生後はじめての開催となり、縮小して行った。いろいろな行事が中止となるなか、こども達も大人も心躍るような楽しみからも遠ざかり、近隣や地域の人々とのつながりも薄くなっていた。
事業実施後の状況	各地域のボランティア団体や世代差のある人々が、共に準備から実行に至るまで協働した。
事業の効果	普段接する事のない人達が、共にひとつの行事をなし得るため、協力しあいながら汗を流し、最後には子ども達の喜び、歓声を聞き、達成感を得て、交流する事の大切さを思った。
今後の課題	9月開催は納涼大会、運動会のはざまで大変忙しい行事である。そして台風シーズンでもあり、天候に左右される事が多く、開催時期を考える必要がある。

以上